仙台駆け込み寺

号外
2021年9月1日

いろは横丁相談室だより

石巻相談室（石巻ハウス）ご紹介

イロハ支部限定公開！

①それは1本の電話から始まった

昨年の暮れ、石巻市の高齢者夫婦から電話が来た。「住むところも食べるものもなく、車で暮らしている。食べ物は仙台まで行って夜回りさんからもらっている」

寒い季節に辛いだろうと思い、明社の被災者支援で縁のあった石巻オアシス教会の趙先生に緊急対応をお願いした。趙先生は二人を教会に招き入れ、温かい食事と数日の寝床を提供した。

その後も趙先生は二人の支援を続けている。





改修前の石巻ハウス

②石巻にも相談所開設へ

東日本大震災最大の被災地である石巻にも駆け込み寺の必要性を感じて、趙先生に公民館の紹介をお願いした。すると「ワタシノトコロヲオツカイナサイ」とオアシス教会の1室を提供下さった。2021年5月にオアシス教会で石巻の相談を開始した。





③突然の提案

石巻ハウスの話は突然やってきた！

6月、趙先生から「コノチカクニ、イイブッケンガアルヨ、カケコミオテラニ、ゼヒカリテホシイ。ホカノヒトニハ、カシタクナイ。オアシスキョウカイトカケコミオテラデ、コノチイキヲスクイマショウ！」と提案があった。

④そして石巻教会の応援

趙先生は東日本大震災被災者を救うため、韓国から石巻市にやってきて、この地に骨を埋める覚悟で毎日救済活動を行っている。10年間活動して自分が一人で救える人は100人が限界を知った。駆け込み寺で手伝って欲しいと言われ、趙先生の提案を断ることはできなかった。

覚悟を決めると話はトントン拍子に進んだ。この頃は石巻教会の支部長さんが個人として相談員になって下さり、石巻教会の石森教会長さん、蜂谷壮年部長さんも応援して下さることになった。

そして、この石巻ハウスの管理人さんも石巻教会の会員さんだった。



趙先生ご夫妻

⑤相談員ボランティアでリノベーション

石巻ハウスの改修は、ボランティアで7月、8月の毎週土日に行った。石巻教会の会員の大工さんも無償で作業を引き受けて下さった。









仙台駆け込み寺

号外
2021年9月1日

いろは横丁相談室だより

石巻相談室（石巻ハウス）ご紹介

イロハ支部限定公開！

















石巻ハウスの間取りは3K＋納戸。1階は美容室だった20畳、2階は6畳、4．5畳。1階は子ども食堂や女性の居場所にも使用予定。2階は畳からフローリングにして事務所と相談室に使用できる。トイレと洗面化粧台は新しいものに入れ替えた。9月から本格的に運用を行う。